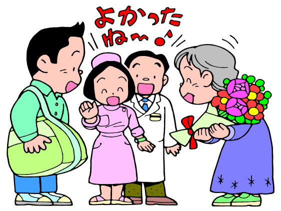
非密封小線源治療(ヨード内服治療)を受けられる患者様へ

患者様用

患者氏名　　　　　　受け持ち医師:　　　　　　受け持ち看護師:

項目＼月日	外来 ／	入院日 ／	治療当日 ／	1日目 ／	2日目 ／	3日目 ／	8日目 ／
達成目標		環境の変化に適応でき安心して入院生活が送れる 説明が理解できる	治療への不安が軽減し安定した気持ちで治療が受けられる 放射性宿酔症状に早期に対処でき安楽に治療が終わる				退院指導が理解できる
検査	□採血　(／) □採尿　(／) □肺機能　(／) □心電図　(／) □胸部CT　同意書・絶食は不要です。　(／) □腫瘍シンチ　(／) □レントゲン　(／)		**一緒にがんばりましょう!** 		治療室から退室できるか、放射線技師が線量を測定します。	□全身撮影をします	□頸部CT(／) ･･･同意書は要ります。 ････検査前絶食はあります。 □退院(／)
治療・内服・処置	チラージンは3週間前から、チロナミンは2週間前から内服を中止してください。 上記以外の薬は続けて内服してください。 治療室へは薬は3日分だけ持参します。看護師へお知らせ下さい。		**ヨード内服治療** 治療室に入室後ピンクの錠剤を2錠内服します。 吐き気があるときには吐き気止めを使います。	内服薬はいつもどおり内服して下さい。 内服できないときはお知らせ下さい。	翌日の全身撮影のために21時に下剤(プルセニド)を2錠内服します。		
活動・安静度	制限はありません。		10時に治療室(153号室)に入室します。 ヨード内服後は治療室から外に出ることはできません。		線量測定し、線量が基準以下であれば退室となります。		
食事	2週間前からヨードの含んだ食事(海藻類、魚介類、乳製品等)を摂っていないかを確認します。　治療後、甲状腺ホルモンの薬が開始するまで、**脱ヨード食**です。		朝食のみ絶食です。血糖の薬以外の内服薬は通常通り内服してください。	ナースコールで食事のメニューをお知らせします。食べることが出来る物、量を配膳しますのでナースコールで教えて下さい。また、果物等食べたい物があったらお知らせ下さい。		脱ヨード食です	甲状腺ホルモンのお薬が始まれば普通食になります。それまでは脱ヨード食です。
清潔	制限はありません。		治療室内でシャワーに入ります。		退室時にシャワーに入ります。		
排泄	制限はありません		治療室内のトイレを使用し、男女を問わず便座に座り水を流しながら用を足します。終わったら水を2回流します。治療当日のみ、吐く時はビニールで覆ったガーグルベースンに吐いて、その後ナースコールでお知らせ下さい。次の日からはトイレに直接吐いて下さい。その際もナースコールでお知らせ下さい。			制限はありません	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	内服しているお薬は入院の際必ず持参してください。 入院に必要な物は入院のしおりをご覧下さい。 治療室で必要な物は入院前に説明します。	医師から治療、副作用についての説明があります。 治療当日から退室前日まで病衣を借用して下さい。 患者用パスとパンフレットを用いて、看護師から治療中の注意点など説明を行います。 治療室での必要物品は、入室前日までに確認を行います。 ＊疑問点、不明な点があれば気軽におたずね下さい。		治療中はお金(3000円まで)を預かり、治療中の買い物を代行します。 原則として面会はできませんが室内の電話での会話は可能です。 		退院が決まったらお知らせします。 医師・看護師からの退院指導があります。 ・今後の受診について・食事について ・甲状腺ホルモン剤の内服について 	